

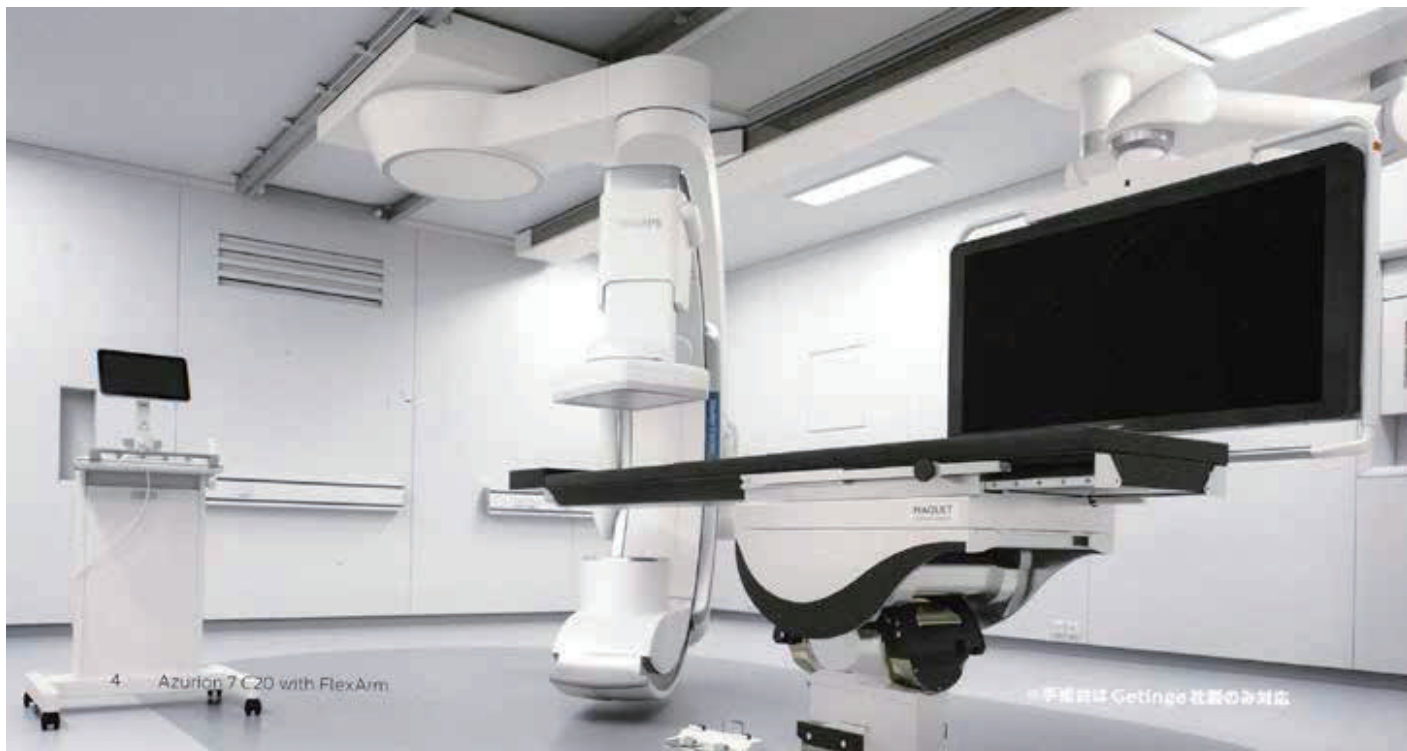
# Hybrid(ハイブリッド)手術室開設予定のお知らせ

## Hybrid OR

診療局長 兼 心臓血管外科主任部長 兼 臨床研修副センター長 兼 ICU/CCUセンター長  
兼 心臓・血管センター長 兼 医療安全管理室長 兼 患者サポートセンター長

船津 俊宏

ハイブリッド手術室に導入予定の透視装置（パンフレットより）

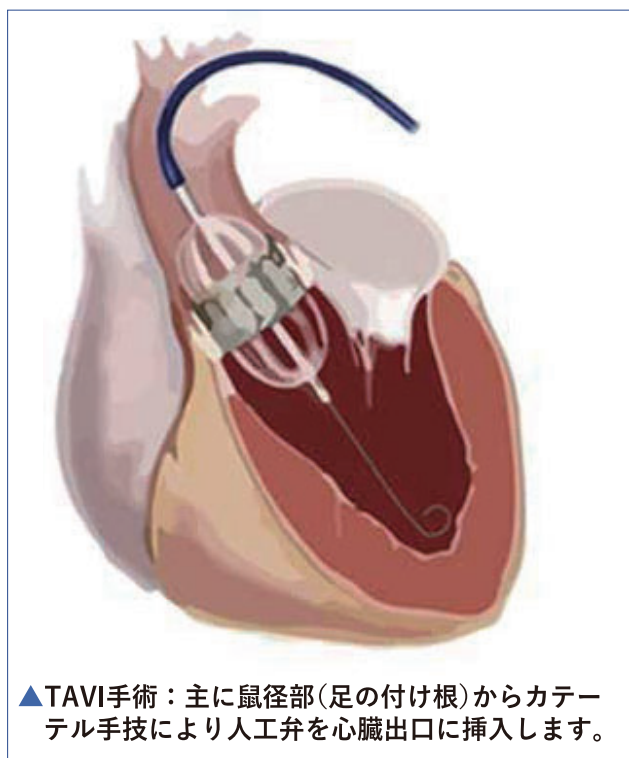


現在、りんくう総合医療センター手術センターにおきまして、第7室目の手術室としてハイブリッド手術室が着工しており、令和6年6月の稼働を目指しております。

ハイブリッド手術室とは、室内設置型のX線透視装置を備えた手術室であり、従来の手術室にカテーテル検査室機能を“組み合わせた”という意味でハイブリッド手術室と呼ばれます。現在は、手術中にX線透視装置が必要な場合、移動式のC-アームと呼ばれる装置を搬入しておこなっております。しかしハイブリッド手術室に装備される透視装置は、こうした移動式装置に比べ高画質で細部までの繊細な画像が得られ、かつ3D機能や画像融合機能を搭載しているため、飛躍的に高度で精密な透視画像が提供されます。これにより、血管内治療と外科手術を同時におこなったり、精細な術中透視画像を駆使した外科手術をおこなったりすることが可能となります。この新しい手術室は、心臓血管外科や循環器内科はもとより、整形外科、脳神経外科、産婦人科などの多領域での活用が期待されており、従来の治療体制に比べてより効率の良い、かつ安全で高度な医療が提供できるようになります。

特にこのハイブリッド手術室の導入によって、初めて当院で可能となる手術があり、それが経カテーテル大動脈弁置換術、いわゆる“TAVI”と呼ばれる手術です。高齢者にしばしば発生する大動脈弁狭窄症と呼ばれる心臓病は、放置すると心不全から生命予後を脅かす疾患ですが、これに対する唯一の治療法はこれまで開胸・心停止を要する人工弁置換術でした。TAVIとは開胸や心停止をおこなわずに、カテーテル手技を用いて人工弁を移植することができる手術で、超高齢者や耐術力の乏しい患者さんに望ましい手術です。これまで当院では、そうした患者さんをTAVIが実施できる他院へ紹介して手術を依頼しておりましたが、ハイブリッド手術室の開設により当院においてその治療が可能となります。

また、この透視装置は可動式のため、使用しない場合には壁側に退避させることができ、これにより透視を用いない手術室としても運用できます。従いまして、手術室自体が1室増室されるということでもあり、これまで以上に予定手術や緊急手術など数多くの手術を実施することが可能となりますので、地域の外科治療により一層貢献できるものと考えます。



▲TAVI手術：主に鼠径部(足の付け根)からカテーテル手技により人工弁を心臓出口に挿入します。